第 80 回国民スポーツ大会 ウエイトリフティング競技
静岡県選手団 総括報告

令和 8 年 10 月 19 日
静岡県ウエイトリフティング協会（作成：事務局　平岡 康伸）

1　大会の概要

・期日・会場：令和 8 年 10 月 10 日（土）～14 日（水）、ひらかわドリームアリーナ（青森県平川市）
・参加：47 都道府県・308 名（成年男子 139 名、少年男子 124 名、女子 45 名）、19 階級
・総合成績：天皇杯（男女総合）は沖縄県（99 点）、皇后杯（女子総合）は兵庫県（38 点）が優勝。日本ジュニア新記録 3 件、日本高校新記録 2 件が誕生した。

2　静岡県選手団

・総監督：平岡 康伸　　監督：増田 貴久
・選手：成年男子　増田 祥大（中央大学）、柏原 裕（トータル・ワークアウト）
・選手：少年男子　石松 頼翔、植野 天翔（ともに静岡県立科学技術高等学校 2 年）

3　個人成績

選手（所属）	種別・階級	スナッチ（順位）	C&J（順位）	トータル（順位）
増田 祥大（中央大学）	成年男子 65kg 級	108・(111)・112 → 112kg（5 位）	(133)・134・138 → 138kg（5 位）	250kg（5 位入賞）
柏原 裕（トータル・ワークアウト）	成年男子 88kg 級	(110)・(110)・110 → 110kg（19 位）	120・130・(140) → 130kg（19 位）	240kg（19 位）
石松 頼翔（科学技術高校 2 年）	少年男子 65kg 級	(80)・80・(85) → 80kg（15 位）	93・98・100 → 100kg（14 位）	180kg（14 位）
植野 天翔（科学技術高校 2 年）	少年男子 79kg 級	(80)・(80)・80 → 80kg（19 位）	93・98・(100) → 98kg（20 位）	178kg（20 位）

（ ）は失敗試技。国スポはスナッチと C&J の種目ごとに 1 位 8 点～8 位 1 点が与えられ、トータルには得点がない。網掛けは科学技術高校の生徒。

4　総合成績（天皇杯得点）

	2026 青森国スポ	2025 滋賀国スポ（前年）
天皇杯得点（参加点 10 点を含む）	18 点（34 位タイ／47 都道府県）	25 点（37 位）
競技得点の内訳	成年 8 点（増田 祥大）	少年 15 点（増田 祥大）
出場選手	4 名（成年 2・少年 2）	4 名（成年 2・少年 2）

得点は成年 65kg 級で両種目 5 位に入った増田祥大選手の 8 点で、天皇杯は 34 位タイだった。前年より順位は 3 つ上がったものの得点は 7 点減っており、2 年続けて全得点を 1 名が挙げている。得点できる選手を増やすことが、本県の最大の課題である。

5　少年選手（科学技術高校）の評価

石松頼翔選手、植野天翔選手の 2 名は、ともに 2 年生ながら、全国の各都道府県代表が集う大舞台で臆することなく試技に臨み、それぞれ自己ベストを更新して最善の努力を尽くした。

・**石松 頼翔（少年 65kg 級・15 名中 14 位）**：クリーン＆ジャークは 93kg・98kg・100kg と 3 本すべてを成功させ、大台の 100kg に到達した。大会全体の C&J 成功率が 63.5%にとどまる中での 3 本成功は、本番で力を出し切る安定感を示している。
・**植野 天翔（少年 79kg 級・20 名中 20 位）**：スナッチは 1・2 本目を失敗したが、後のない 3 本目で 80kg を成功させ、記録なしを回避した。重圧のかかる場面での粘り強さは大きな収穫である。C&J も 93kg・98kg を確実に成功させた。
・大会初日から成年選手の試合を会場で観戦し、全国トップレベルの試技や試合運びを間近で学ぶ機会にもなった。

一方で、2 名ともスナッチ 1 本目を失敗しており（大会全体のスナッチ 1 本目成功率は 74.7%）、試合の入りの確実性が来年への課題である。得点圏となる 8 位までの記録との差は次のとおりで、3 年生として迎える来年度に向けた具体的な目標となる。

選手	階級（出場者数）	スナッチ：本大会記録／8 位記録	C&J：本大会記録／8 位記録
石松 頼翔	少年 65kg 級（15 名）	80kg／98kg（あと 18kg）	100kg／120kg（あと 20kg）
植野 天翔	少年 79kg 級（20 名）	80kg／108kg（あと 28kg）	98kg／127kg（あと 29kg）

６　成年選手の評価

・**増田　祥大（成年 65kg 級・5 位入賞）**：前年の少年 61kg 級優勝に続き、成年 1 年目で両種目 5 位・トータル 5 位に入り、本県の全得点 8 点を挙げた。4 位までスナッチは 1kg、C&J は 3kg の差だった。

・**柏原　裕（成年 88kg 級・19 位）**：スナッチは 3 本目で 110kg を成功させて記録を残した。8 位の記録とはスナッチ 29kg、C&J 41kg の差があった。

７　今後に向けて

・令和 9 年度の宮崎国スポに向け、少年選手 2 名には 3 年生として得点圏（8 位以内）を目指す強化を進める。

・スナッチ 1 本目を確実に成功させる開始重量の設定と、試技前の準備（練習場での調整・試技順の把握）を指導の重点とする。

・得点できる選手を複数育て、出場枠の確保と女子選手の育成にも取り組む。

科学技術高等学校の御理解と御協力により、2 名の生徒が全国の舞台を経験できたことに、改めて感謝申し上げます。

出典：日本ウエイトリフティング協会「第 80 回国民スポーツ大会 結果速報」、あおもり国スポ「競技別総合成績」